

本質とは何か？ どこにあるのか？

横田宏信 (Horonobu, Yokota)

出る杭の杜

- まず、「本質とは何か？ どこにあるのか？」についての世の中の理解を見る。
 - SNS の X で実施した「本質とは何か？」、「本質はどこにあるのか？」を問う日米アンケート結果（2025年8月。各質問とも回答者1,000人以上）。

「本質とは何か？」

	日本 (1,598人回答)	米国 (1,020人回答)
1. ある事物の中核をなすもの	47.1%	29.9%
2. ある事物をそれたらしめるもの	43.2%	40.4%
3. ある事物すべてに共通する特徴	9.7%	29.7%

「本質はどこにあるか？」

	日本 (1,159人回答)	米国 (1,008人回答)
1. 本質を持つ事物の中	40.7%	35.6%
2. 本質を知る人の頭の中	32.7%	31.2%
3. 他	26.6%	33.2%

- アンケートで改めて浮き彫りにされた本質についての世の中の理解のバラつき、偏り、誤りを見る。
- 改めて「本質とは何か？」を考える。
 - 哲学で言う本質とは「ある事物をそれたらしめるもの」である。では、「ある事物をそれたらしめるもの」とは一体何なのか？それは「ある事物すべてに共通する特徴」である。
 - 人は、事物を本質によって普遍的に定義する。現実に存在する個別の「ある事物」は、本質によって定義される普遍的な「ある事物」（概念）の一つである。つまり、本質は「現実の正しい見方の根本」である。

- 自然科学と社会科学における本質への肉薄度の違いを見る。
 - 自然科学でも社会科学でも、本質とは「ある事物すべてに共通する特徴」であるとの認識が浸透してきたわけではない。
 - しかし、自然科学では、自然の基礎的な事物を「ある事物すべてに共通する特徴」すなわち本質によって普遍的に定義してきた。
(例：水とは「水素原子二つと酸素原子一つの化学結合を持つもの」である)
よって、人類は、自然の基礎的な事物の普遍的な定義に立脚して数多の普遍的な自然法則を発見でき、自然法則の再現手法の体系である科学技術を構築・発展させることができてきた。
つまり、これまで人類は、自然を制御する術を高度化することができてきた。
 - 対して社会科学では、社会の基礎的な事物を本質で普遍的に定義してこなかった。
(例：社会とは価値をやりとりする人間の集団であるという意味で、価値は社会の最も基礎的な事物の一つである。しかし、価値についての「価値すべてに共通する特徴」すなわち価値の本質による普遍的な定義に定説はない。そもそも価値の本質が何かについても定説がない)
そのため、人類は、普遍的な社会法則をまったく、ないしはほぼ発見できておらず、社会法則の再現手法の体系である科学技術を構築することができていない（現状、科学技術と言えば、自然科学の科学技術のみを指す）。
つまり、これまで人類は、社会を制御する術を高度化することができてこなかった。
このことは、我々がより良い社会を実現することの大きな阻害要因になっていると言える。

- 改めて「本質はどこにあるか？」を考える。
 - 「本質とは何か？」が分かって、はじめて「本質はどこにあるか？」も分かる。
 - 本質が定義する事物が「ある事物すべて」であるのと同様に、「ある事物すべてに共通する特徴」である本質自体も「ある事物すべて」である。
(例：「水素原子二つと酸素原子一つの化学結合を持つもの」が定義する水が水すべてであるのと同様に、「水素原子二つと酸素原子一つの化学結合を持つもの」自体もそれすべてであり、特定のそれではない)
「ある事物すべて」の一部をなす未来の「ある事物」は現実（頭の外）には存在しないから、「ある事物すべて」は現実には存在しない。
 - ならば、「ある事物すべて」は、頭の中に認識として存在するものと考えられない。
よって、本質は「本質を知る人の頭の中」にある。
 - 「現実の正しい見方の根本」は、我々の頭の中にあるのである。

- 最後に、本質についての教育の在るべき姿を考える。
 - 冒頭に見た「本質とは何か？ どこにあるのか？」についての世の中の理解は、本質についての正しい教育が圧倒的に不足してきたことを示唆する。総体として世の中は、本質が「ある事物すべてに共通する特徴」であること、本質が頭の中にあることを分かっていない。ゆえに世の中は、本質が頭の中の「現実の正しい見方の根本」であること、本質に迫ってきたからこそ自然科学は発展し、本質に迫ってこなかったからこそ社会科学は発展してこなかったことを分かっていないと言える。
 - しかし、世の中がそれらのことを分かれば、人類は、自然という現実だけではなく、社会という現実についても、根本的に正しく見ることができるようになる。しかも、従来比で飛躍的に高いレベルでだ。このことは、自然科学の発展前と発展後を比べてみれば自明のことだろう。つまり、本質に迫れば、人類は、圧倒的により良い社会を実現することが可能なのだ。
 - 我々は、今すぐ、全世界で「本質の教育」を徹底的に実施すべきではなからうか？